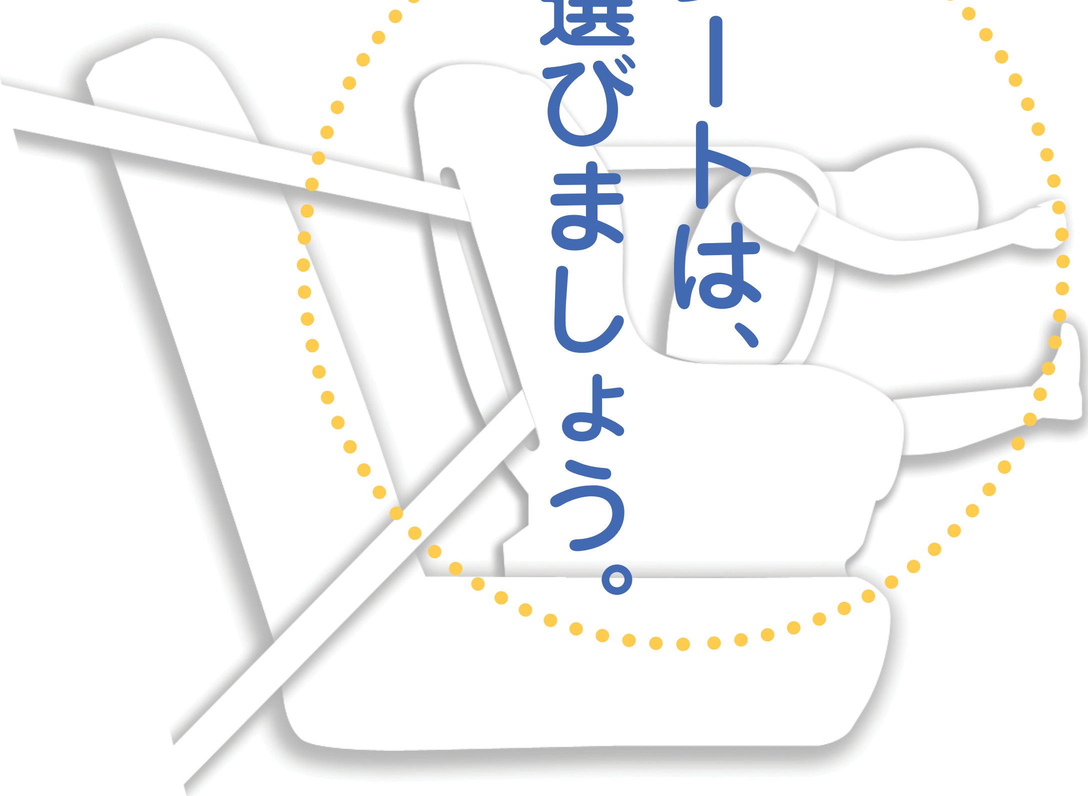
2007-2008

製品別安全性能
比較評価一覧

チャイルドシート アセスメント

チャイルドシートは、
安全性能で選びましょう。



国土交通省

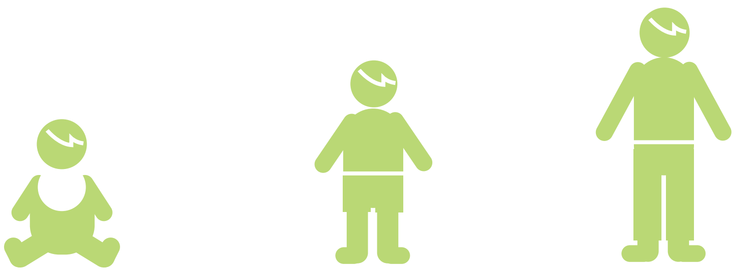
独立行政法人自動車事故対策機構

チャイルドシート アセスメントとは？

安全なチャイルドシートを選ぶために。安全なチャイルドシートがつくられるために。

国土交通省と自動車事故対策機構は、自動車アセスメントの一環として、
平成13年度から市販のチャイルドシートについて、
前面衝突試験と使用性評価試験による評価を行い、
その結果をチャイルドシートの安全性能として公表しています。
チャイルドシートアセスメントの目的は、信頼できる安全性能評価を公表して、
より安全な製品を選択しやすい環境を整えるとともに、製作者による
より安全な製品の開発を促すことによって、安全なチャイルドシートの普及を
促進しようとするものです。チャイルドシートのご利用の前に、
ぜひ「チャイルドシートアセスメント」をお読みください。

Contents



適用体重10kg未満 身長が70cm以下 新生児から1歳くらい	適用体重9〜18kg 身長が65〜100cm 1〜4歳くらい	適用体重15〜36kg 身長が135cm以下 4〜10歳くらい



乳児用 ベビーシートと呼ばれることもあります	幼児用 チャイルドシートと呼ばれることもあります	学童用 ジュニアシートと呼ばれることもあります

1台のチャイルドシートで、乳児用と幼児用が兼用できる「乳児・幼児兼用」もあります。

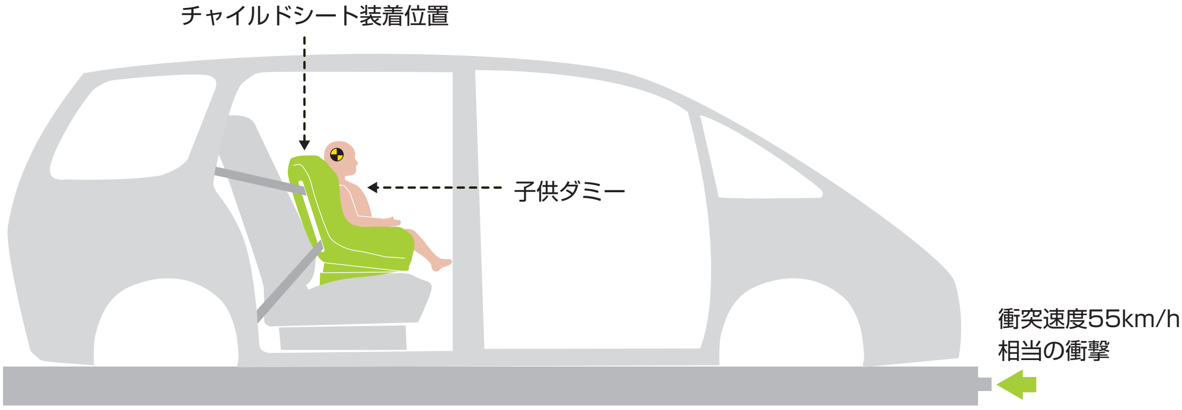
学童用は車両のシートベルトの性能によるものが大きいということでアセスメントの対象としていません。

注：対象となる身長、年齢は目安です。

Ⅰ 前面衝突試験

ダミーが受ける衝撃を測定

1 試験方法







前面衝突試験では、試験用車両の2列目右側座席に取り付けたチャイルドシートに子供ダミーを乗せて、自動車の前面衝突時と同様の衝撃を試験用車両の前面に発生させます。その時、ダミーの頭部、胸部が受けた衝撃やダミー頭部の挙動などでチャイルドシートの安全性能を評価しています。

試験に使う子供ダミー

CRABI 6MO



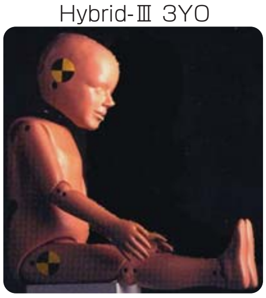
体重：7.4kg
身長：671mm
乳児用ベッド型

TNO P3/4



体重：9.0kg
身長：708mm
乳児用後ろ向き

Hybrid-Ⅲ 3YO



体重：15.5kg
身長：945mm
幼児用

●より高い安全性能を評価する観点から国の安全基準における衝突試験の速度の1割増しの55km/hで実施しています。

●試験用車両には、トヨタ･エスティマを使用しています。なお、別の車種で試験を行った場合は結果が異なる可能性があります。

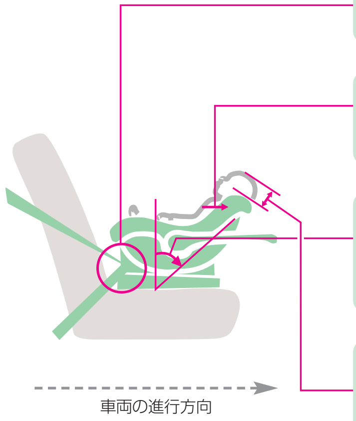
●平成14年度の乳児用チャイルドシート(後ろ向き)の試験において、ダミー頭部の初期姿勢の違いにより試験結果に影響を及ぼした可能性があるとの指摘により、次年度以降の試験において、ダミー頭部をチャイルドシートに接触させて試験を実施しています。

●平成15年度の試験より、幼児用チャイルドシートの腹部圧迫の程度について評価を行うため面圧計を使用した定量的な測定を行っています。

2 評価方法

各タイプごとに下記のような項目について評価を行い、◎、○、×で示します。

乳児用 後ろ向き型



衝突によるチャイルドシート取付部等の破損

◎ チャイルドシート取付部等の破損がない
○ 軽微な破損（亀裂等）があるが、拘束が保持されている場合等
× 強度を保持している部分の破損であって、本来の構造をとどめていない場合等

衝突によって胸部に生じる力（胸部合成加速度）

◎ 胸部合成加速度≦539m/s^2(55G)
○ 胸部合成加速度＞539m/s^2(55G)
※衝突時に子供の胸部に発生する加速度が大きいと、胸に傷害を受ける危険性があります。

衝突時のチャイルドシートのシートバックの傾き（角度）

◎ シートバックの傾き≦60°
○ 60°＜シートバックの傾き≦70°
×シートバックの傾き＞70°
※衝突時にシートバックが倒れすぎると、背中以外で荷重を受け、肩等に負担がかかり、傷害を受ける危険性があります。

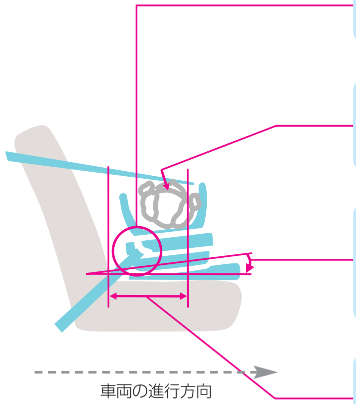
衝突時のチャイルドシート上端面からの頭部のはみ出し

◎ 頭部のはみ出しがない
○ 頭部のはみ出しが73mm以内
× 頭部のはみ出しが73mmを超える
※衝突時に子供の頭部がチャイルドシート上端面から大きくはみ出すと、頸部に負担がかかり、傷害を受ける危険性があります。

衝突時に生じたその他の事象

× 衝突時にバックルが解離した
× 衝突時にチャイルドシート本体が座席ベルトから放出した

乳児用 ベッド型



衝突によるチャイルドシート取付部等の破損

◎ チャイルドシート取付部等の破損がない
○ 軽微な破損（亀裂等）があるが、拘束が保持されている場合等
× 強度を保持している部分の破損であって、本来の構造をとどめていない場合等

衝突によって胸部に生じる力（胸部合成加速度）

◎ 胸部合成加速度≦539m/s^2(55G)
○ 胸部合成加速度＞539m/s^2(55G)
※衝突時に子供の胸部に発生する加速度が大きいと、胸に傷害を受ける危険性があります。

衝突時のチャイルドシート底面の傾き

◎ ベッドの底面が水平より前方に傾かない（頭部のはみ出しなし）
○ ベッドの底面が水平まで傾く（頭部のはみ出しなし）
× ベッドの底面が前方に傾くまたは頭部のはみ出し
※衝突時にベッド底面が前方に倒れすぎると、背中以外で荷重を受け、肩等に負担がかかり、傷害を受ける危険性があります。

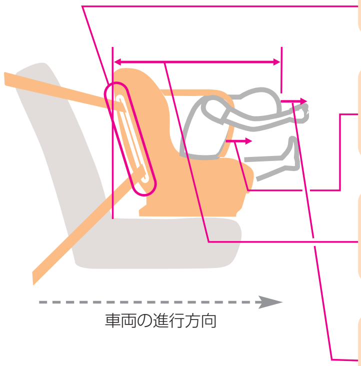
衝突時の頭部の前方への移動量

◎ 頭部移動量≦600mm
○ 600mm＜頭部移動量≦750mm
× 頭部移動量＞750mm
※衝突時に子供の頭部が前方に移動しすぎると、前席に衝突し、傷害を受ける危険性があります。

衝突時に生じたその他の事象

× 衝突時にバックルが解離した
× 衝突時にチャイルドシート本体が座席ベルトから放出した

幼児用



衝突によるチャイルドシート取付部等の破損

◎ チャイルドシート取付部等の破損がない
○ 軽微な破損（亀裂等）があるが、拘束が保持されている場合等
× 強度を保持している部分の破損であって、本来の構造をとどめていない場合等

衝突によって胸部に生じる力（胸部合成加速度）

◎ 胸部合成加速度≦588m/s^2(60G)
○ 胸部合成加速度＞588m/s^2(60G)
※衝突時に子供の胸部に発生する加速度が大きいと、胸に傷害を受ける危険性があります。

衝突時の頭部の前方への移動量

◎ 頭部移動量≦550mm
○ 550mm＜頭部移動量≦700mm
× 頭部移動量＞700mm
※衝突時に子供の頭部が前方に移動しすぎると、前席に衝突し、傷害を受ける危険性があります。

衝突によって頭部に生じる力（頭部合成加速度）

◎ 頭部合成加速度≦784m/s^2(80G)
○ 頭部合成加速度＞784m/s^2(80G)
※衝突時に子供の頭部に発生する加速度が大きいと、頭部に傷害を受ける危険性があります。

衝突時に生じたその他の事象

× 衝突時にバックルが解離した
× 衝突時にチャイルドシート本体が座席ベルトから放出した
× 衝突時において、ハーネスが腹部等身体の弱い部分を圧迫する等幼児に傷害を与えるおそれがある
※幼児用の場合、ハーネスやシールド等が肩および骨盤において身体を拘束する必要があります。これらの拘束が適切でなく、身体の弱い部分（頸部、腹、股間等）を圧迫して身体を拘束している場合が該当します。

3 評価

実施した試験の結果に応じて総合的に4段階で評価を行います。

優	4つの項目がすべて◎の場合（×が1つでもある場合は除く。）
良	4つの項目の中で◎が3つ、○が1つの場合（×が1つでもある場合は除く。）
普	「優」、「良」および「推奨せず」に該当しない場合
推奨せず	評価項目の中で1つでも×があった場合　より高い安全性能を評価する本試験の観点からは、推奨するに至らないことを表しており、使用不可という意味ではありません。試験対象とした製品は、全て安全基準に適合しており一定レベルの安全性は確保されています。

※ インパクトシールドタイプ（自動車のシートベルトにより、インパクトシールド（衝突試験時、子供の体が飛び出すことを防ぐ拘束装置）を介して、チャイルドシートと子供の体を一体的に拘束するタイプ）のチャイルドシートについては、インパクトシールドがダミー胸部や腹部に計測範囲を超える大きな変形を生じさせるため、腹部への圧力を正確に計測できないことがあり、腹部圧迫計測を開始した平成15年度以降の試験対象機種の前面衝突試験の総合的な評価を行っていない。平成19年度の試験結果についても、これらに加え、腹部の変形の評価方法及びインパクトシールドタイプの腹部への圧力の評価方法が確立していないことがあるため、評価を行わないこととした。

各製品その他情報の表示説明

適合基準の種類

新基準適合品　2006年10月に施行された国内基準に適合したもの。なお、国内基準とは現行の国連基準（ECE規則第44号第4改訂版）と同じものです。

現行基準適合品　2000年1月に施行された国内基準に、適合したもの。2006年10月に新基準が策定されていますが、現在販売されているチャイルドシートが改正前の基準に適合しているため、便宜上「現行基準適合品」と呼称しています。

旧国連基準適合品　旧国連基準（ECE規則第44号第3改訂版）に適合したもの。

米国基準適合品　FMVSS No.213に、適合したもの。

※詳細はP22をご覧ください。

ビデオ有り

取扱説明用等のビデオが同封してある場合はこのマークで表示しています。これは評価の対象とはしていません。

製品重量

kg

2003年度の対象製品から試験時の製品の重量を ○.○kg で表示しています。これは評価の対象とはしていません。

希望試験機種

希望試験機種とは、チャイルドシート製作者等からの申し出によるものです。

腹部圧迫の計測方法

　衝突時に幼児の腹部を圧迫するチャイルドシートがあるため、試験時にダミー腹部に面圧計を装着して腹部圧迫の程度を定量的に測定しています。

　腹部とみなされる肋骨の下端から骨盤（腸骨部分）の上端にかかる荷重の総和を腹部合計荷重として、その値が幼児の身体に傷害を与えるとみなされる1.30kN（※2006年度までは1.38kN）を超える場合は「その他の事象」の評価を「×」としています。

注意ポイント

①試験に使用している3歳児ダミー（Hybrid-Ⅲ 3YO）は人体と同じではなく、腹部は約50mm以上凹まない構造となっています。一方、胸部は約40mm以上凹まない構造となっており、腹部の凹み量と異なっています。このため、限界まで圧迫が加わると、胸部と腹部の圧力を正しく計測できません。

②腹部合計荷重が最大となった時の圧力分布図については、最大荷重が発生した時間の圧力分布の状況を見やすくしたものであり、実際の面積とは異なります。

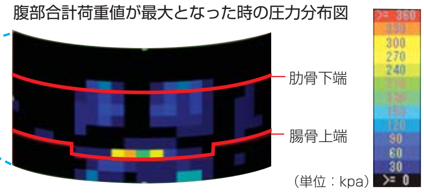


腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値

0.285kN

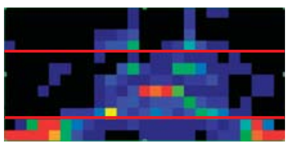




※2007年度から実施の評価範囲の見直し等について

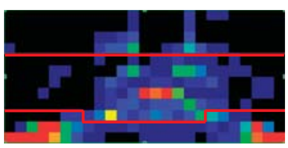
評価範囲の見直し

2006年度まで



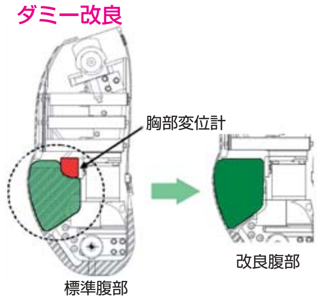
（下1行の左右端7セル削除）

2007年度からの見直し



腹部圧迫計測においては、ダミー構造に起因した問題により、正しく計測できない場合があり、2006年、2007年度に行った調査研究により評価範囲の見直し及びダミー腹部の改良を行いました。これに伴いその値が幼児の身体に傷害を与えるとみなされる腹部合計荷重値が1.38kNから1.30kNへ変更しています。なお、2007年度の試験からこの新評価範囲及び改良ダミーにより試験を実施しています。

ダミー改良



胸部変位計を取り外し、腹部インナーの形状を変更した。

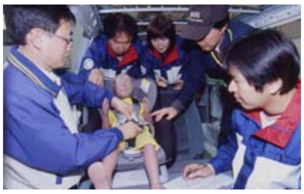
各項目の評価結果は、チャイルドシートを正しい使用状態で試験を行った結果であり、正しい使用状態でない場合は本来の機能が発揮されません。

Ⅱ 使用性評価試験

誰でも簡単、確実に取り付けられるかを判定

1 試験方法

チャイルドシートが実際に使用される際、誤った取付などが多数見受けられます。ユーザーが自動車の座席にチャイルドシートを取り付ける際、確実に取り付けられるように配慮されているかなどを、複数のチャイルドシートの専門家が判定しています。




2 評価方法

取扱説明書等

取扱説明書等
- 取り付けおよび装着について説明がある。技術基準に定めるすべての記述がある。
- 取り付けおよび装着について、図版と文章で理解ができる。
- 助手席装着時の警告がある。技術基準に定める表記がある。
- 取り付けおよび装着について、子供の体格別に説明がされている。
- 取り付け後の確認方法が記載されている。

梱包箱の表示
- 対象となる体重、身長のいずれかが表示（日本語）されている。
  技術基準に定める表示・適合基準表示がある。

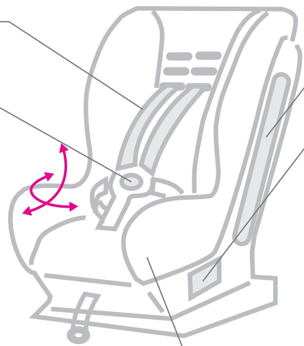
装着性（チャイルドシートへの子供の着座）

ハーネス
- スロット位置が分かりやすい。
- 調節が簡単かつ確実に行える。

バックル
- 簡単な操作で確実なロックができる。
- 子供が解除しにくい解除力である（40N以上）。

着座状態
- 専門家がダミーを1分未満で適切に着座させられる。





本体表示

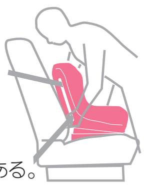
ベルトガイド
- 文字によって表示している。

表示内容
- 取り付け方法の表示がある。
- 助手席装着時の警告がある。技術基準に定める注意・警告が表示されている。
- 表現が適切で、誤解が生じない。
- 製品の問い合わせ先が表示されている。
- 製品が適合する基準が表示（マーク等でも可）されている。

取付性（車の座席への取り付け）

ベルト・ルーティング
- 間違えにくく、通しやすい。車両側ベルトのねじれや折れが発生しない。

固定の確実性
- 一人で容易に確実な締め付けができる。
- 固定金具等は使いやすく、十分な固定ができる。
- 前向き等:取り付け後ぐらつきがない（98Nで上部を引き寄せた時、移動量が3cm以上、5cm未満）。
  後ろ向き:シートバックの角度が45度 ±10度未満である。



本体機構

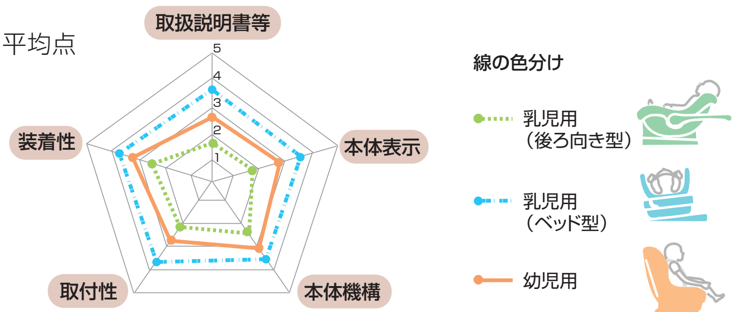
可動機構（リクライニング・回転の操作性）
- 確実にロックする。
  レバースイッチの位置が分かりやすい。

シートカバー（メンテナンスの容易性）
- シートカバーを脱着した場合、ハーネス等の取り付けが間違えにくく、確実に取り付けられる。

収納部（取扱書・付属品の収納）
- 取扱説明書および付属品（ある場合）の収納部がある。

3 評価

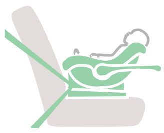
内容ごとに点数をつけ、評価項目ごとの平均点を表示します。



チャイルドシートアセスメントの結果

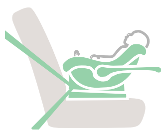
カテゴリー別掲載製品一覧

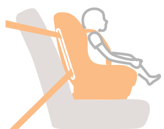
乳児用



ページ	製品名	メーカー名
8	グッドキャリー	[コンビ(株)]
	カブリオレ	[コンビ(株)]
	オートベビープラス	[グレコ]
	レーマー・ベビーセーフプラス	[(株)ヤナセ]
	PAOPAOベビーNS	[(株)東海理化電機製作所]
9	スーパーキャリー	[(株)日本育児]
	プリムベビー	[コンビ(株)]
	スーパーキャリー	[(株)日本育児]

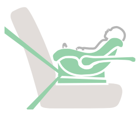
乳児・幼児用兼用
（1台で、2通りの使い方ができる機種）





ページ	製品名	メーカー名
10	セパラテ	[コンビ(株)]
	コッコロ	[コンビ(株)]
	すくすくターン	[(株)カーメイト]
11	ユーロビギン	[リーマン(株)]
	takata04-facil	[タカタ(株)]
	パミオウーノ	[リーマン(株)]
12	エールベベ・ズット	[(株)カーメイト]
	takata04-comfyN	[タカタ(株)]
	レカロスタートゼロプラス	[レカロ(株)]
13	takata04-system3.0	[タカタ(株)]
	ピピデビューN	[リーマン(株)]
	トヨタ G-Child plus	[タカタ(株)]
14	takata04-neo	[タカタ(株)]
	パミオデビューDX	[リーマン(株)]
	プリムロング	[コンビ(株)]
15	ミリブ6000	[タカタ(株)]
	エールベベ・くるっとEX	[(株)カーメイト]
	ゼウスターンEG	[コンビ(株)]
	ネオシスファースト2.5 S	[コンビ(株)]

乳児（ベッド型含む）・幼児用兼用
（1台で、3通りの使い方ができる機種）

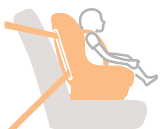






ページ	製品名	メーカー名
16	ユーロフィックスEC820	[アップリカ葛西(株)]
	ニューボーンベッドイージーターンWエアーサーモ1000	[アップリカ葛西(株)]
	ニューボーンベッドイージーターン600	[アップリカ葛西(株)]
17	ニューボーンベッドワイド&ロング	[アップリカ葛西(株)]
	マシュマロベッドWサーモ	[アップリカ葛西(株)]
	マシュマロJターンネオサーモ	[アップリカ葛西(株)]

幼児用



ページ	製品名	メーカー名
18	ハーネスフィットロング	[コンビ(株)]
	RECARO Start R1	[レカロ(株)]
	エールベベ・サラット3ステップⅡ／RECARO Start α1	[(株)カーメイト]／[レカロ(株)]
	ユーロジュニア	[アップリカ葛西(株)]
19	チャイルド&ジュニアシートムービングサポート	[アップリカ葛西(株)]
	プリオリXP	[コンビ(株)]
	NEWトラベルベスト	[(株)日本育児]
	ブオンキッズEG	[コンビ(株)]
20	エールベベ・さらっと3ステップ	[(株)カーメイト]
	パワーベスト	[エムズジンテック(株)]
	レーマー・キングTSプラス	[(株)ヤナセ]
	ハイバックブースター	[(株)日本育児]
21	プリムキッズ	[コンビ(株)]
	ファンキッズ	[(株)ミクニ]
	レーマー・ロード	[(株)ヤナセ]
	PAOPAOチャイルドフォービー	[(株)東海理化電機製作所]

乳児用

乳児用・幼児用（兼用タイプ）（ベッド型含む）

幼児用

2001年から試験を実施していますが、過去の製品につきましてはホームページをご覧ください。

乳児用　対象：体重10kg未満用　進行方向に対して後ろ向きに使用

乳児用

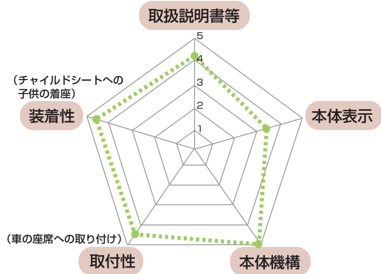
グッドキャリー　新基準適合品　E4 04443638（2007年度実施）　コンビ（株）



3.3kg

Ⅰ 前面衝突試験の評価	乳児
取付部等の破損	◎
シートバックの傾き	◎
頭部のはみ出し	◎
胸部に生じる力	○
その他の事象	なし
評価	良

Ⅱ 使用性評価試験の評価



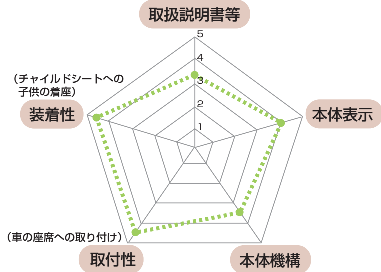
カブリオレ　旧国連基準適合品（2005年度実施）　コンビ（株）



3.1kg

Ⅰ 前面衝突試験の評価	乳児
取付部等の破損	◎
シートバックの傾き	◎
頭部のはみ出し	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象	なし
評価	優

Ⅱ 使用性評価試験の評価



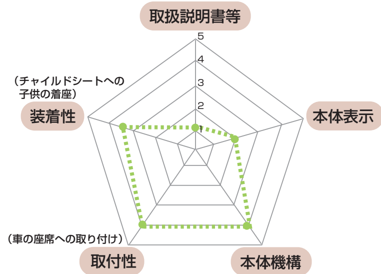
オートベビープラス　旧国連基準適合品（2004年度実施）　グレコ



3.3kg

Ⅰ 前面衝突試験の評価	乳児
取付部等の破損	◎
シートバックの傾き	◎
頭部のはみ出し	◎
胸部に生じる力	○
その他の事象	なし
評価	良

Ⅱ 使用性評価試験の評価



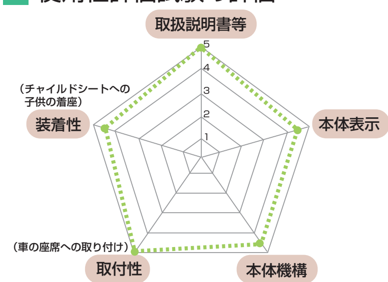
レーマー・ベビーセーフプラス　旧国連基準適合品（2003年度実施）　（株）ヤナセ



3.3kg

Ⅰ 前面衝突試験の評価	乳児
取付部等の破損	◎
シートバックの傾き	◎
頭部のはみ出し	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象	なし
評価	優

Ⅱ 使用性評価試験の評価

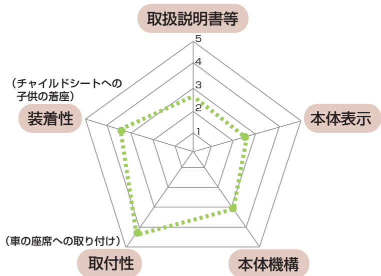


PAOPAOベビーNS　現行基準適合品（2002年度実施）　㊀C-1007／㊀C-157　（株）東海理化電機製作所



Ⅰ 前面衝突試験の評価	乳児
取付部等の破損	◎
シートバックの傾き	◎
頭部のはみ出し	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象	なし
評価	優

Ⅱ 使用性評価試験の評価



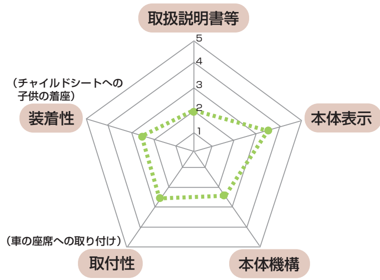
スーパーキャリー※

米国基準適合品　希望試験機種　(2002年度実施)　(株)日本育児



Ⅰ 前面衝突試験の評価	乳児
取付部等の破損	○
シートバックの傾き	◎
頭部のはみ出し	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象	なし
評価	良

Ⅱ 使用性評価試験の評価



※座席への固定については、3点式固定により試験を実施した。

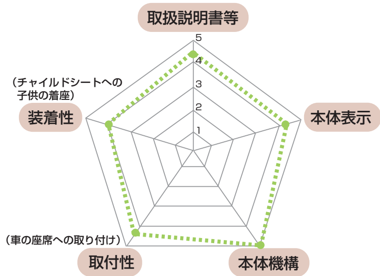
プリムベビー

現行基準適合品　(2001年度実施)　㊀C-1010／㊀C-146　コンビ(株)



Ⅰ 前面衝突試験の評価	乳児
取付部等の破損	◎
シートバックの傾き	◎
頭部のはみ出し	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象	なし
評価	優

Ⅱ 使用性評価試験の評価



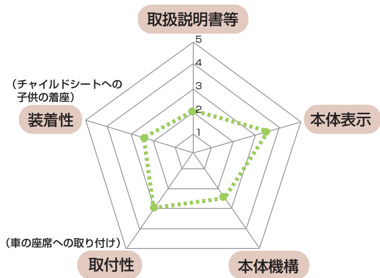
スーパーキャリー※

米国基準適合品　(2001年度実施)　(株)日本育児



Ⅰ 前面衝突試験の評価	乳児
取付部等の破損	○
シートバックの傾き	×
頭部のはみ出し	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象	なし
評価	推奨せず

Ⅱ 使用性評価試験の評価



※座席への固定については、2点式固定により試験を実施した。



乳児用・幼児用（兼用タイプ）

セパラテ

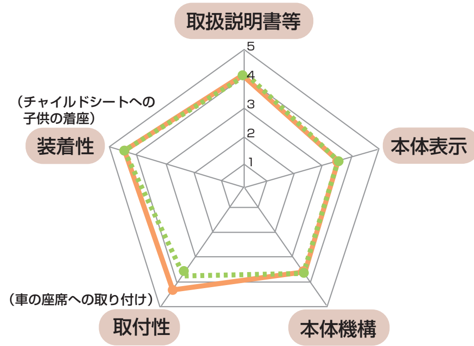
新基準適合品　E4 04443701（2007年度実施）　コンビ（株）



12.1kg

Ⅰ 前面衝突試験の評価	乳児	幼児
取付部等の破損	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	○
胸部に生じる力	○	◎
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	なし	なし
評価	良	普

Ⅱ 使用性評価試験の評価

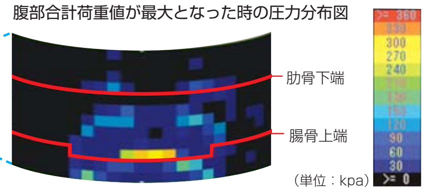


腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
0.377kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



コッコロ

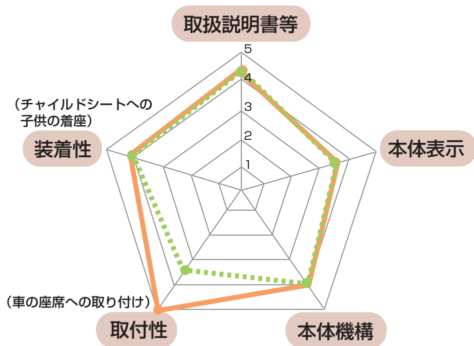
新基準適合品　E4 04443715（2007年度実施）　コンビ（株）



4.1kg

Ⅰ 前面衝突試験の評価	乳児	幼児
取付部等の破損	○	◎
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	○
胸部に生じる力	◎	◎
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	なし	なし
評価	良	普

Ⅱ 使用性評価試験の評価

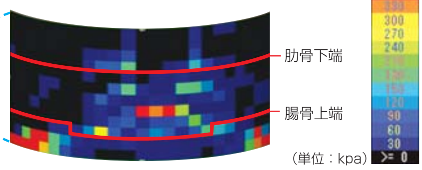


腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
0.560kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



すくすくターン

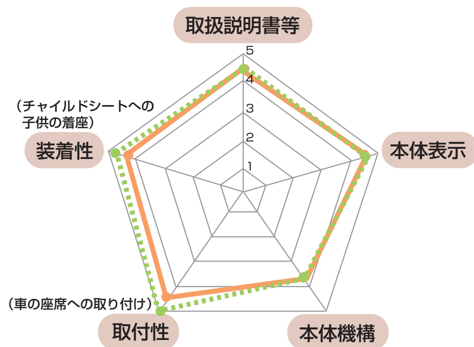
現行基準適合品　自 C-2530（2007年度実施）　（株）カーメイト



12.4kg

Ⅰ 前面衝突試験の評価	乳児	幼児
取付部等の破損	◎	○
シートバックの傾き	○	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	○	◎
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	なし	なし
評価	普	普

Ⅱ 使用性評価試験の評価

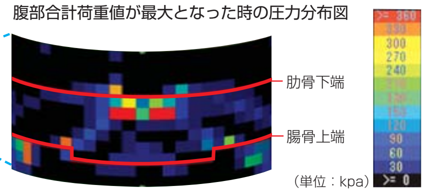


腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
0.832kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



ユーロビギン

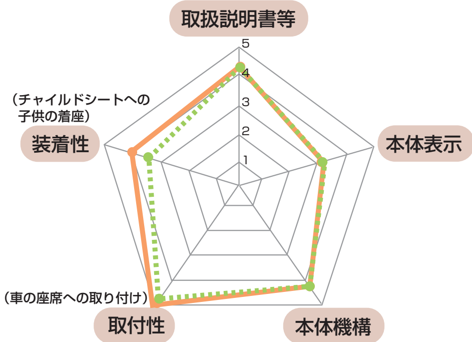
新基準適合品 E_8 044400（2007年度実施） リーマン（株）



6.3kg

Ⅰ 前面衝突試験の評価	乳児	幼児
取付部等の破損	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	○
胸部に生じる力	◎	◎
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	なし	なし
評価	優	普

Ⅱ 使用性評価試験の評価

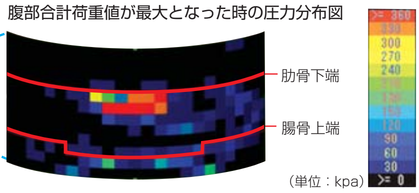


腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
0.684kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



takata04-facil

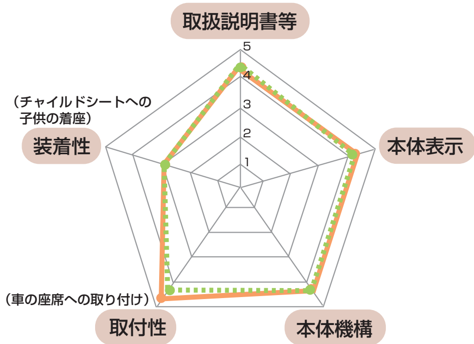
現行基準適合品 ㊀ C-2529（2007年度実施） タカタ（株）



8.9kg

Ⅰ 前面衝突試験の評価	乳児	幼児
取付部等の破損	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	◎
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	◎	◎
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	なし	なし
評価	優	優

Ⅱ 使用性評価試験の評価

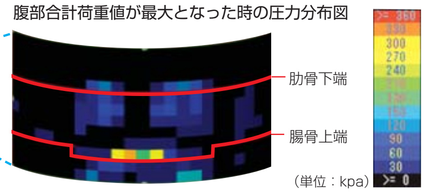


腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
0.285kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



パミオウーノ

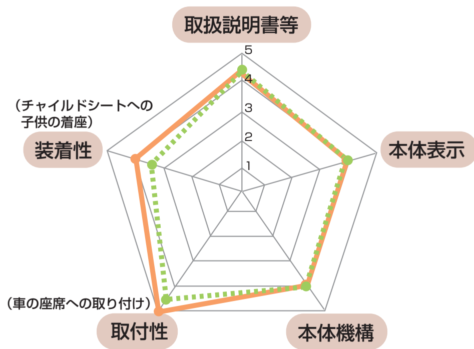
新基準適合品 E_8 044159（2006年度実施） リーマン（株）



6.7kg

Ⅰ 前面衝突試験の評価	乳児	幼児
取付部等の破損	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	○
胸部に生じる力	○	◎
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	なし	なし
評価	良	普

Ⅱ 使用性評価試験の評価

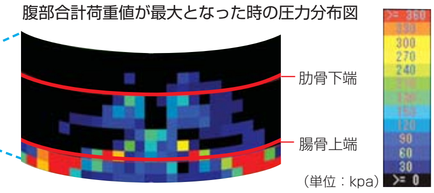


腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
0.627kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



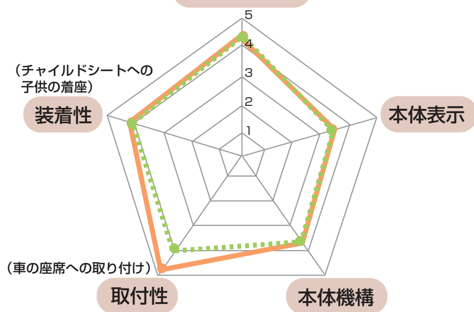
エールベベ・ズット （現行基準適合品） ㊐ C-2516（2006年度実施） （株）カーメイト



8.3kg

Ⅰ 前面衝突試験の評価	乳児	幼児
取付部等の破損	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	◎	◎
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	なし	なし
評価	優	良

Ⅱ 使用性評価試験の評価

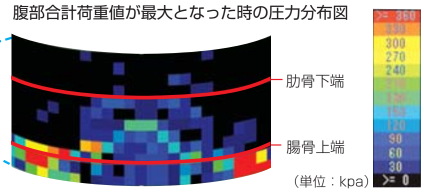


腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
0.692kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



（単位：kpa）

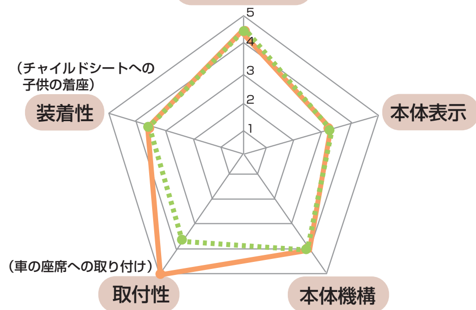
takata04-comfyN （現行基準適合品） ㊐ C-2522（2006年度実施） タカタ（株）



7.0kg

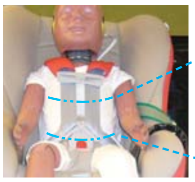
Ⅰ 前面衝突試験の評価	乳児	幼児
取付部等の破損	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	◎	◎
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	なし	なし
評価	優	良

Ⅱ 使用性評価試験の評価

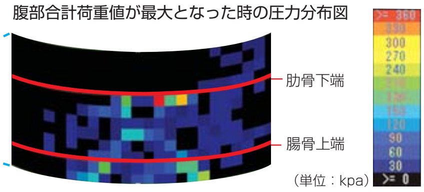


腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
0.471kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



（単位：kpa）

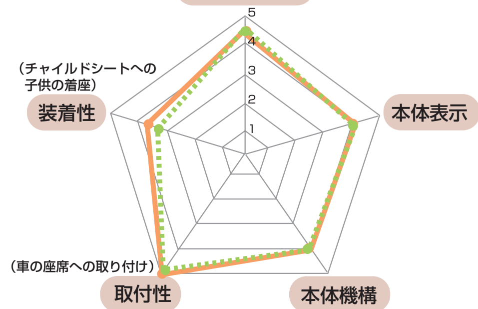
レカロスタートゼロプラス （現行基準適合品） ㊐ C-2509（2005年度実施） レカロ（株）



6.3kg

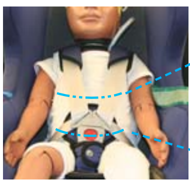
Ⅰ 前面衝突試験の評価	乳児	幼児
取付部等の破損	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	◎	◎
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	なし	なし
評価	優	良

Ⅱ 使用性評価試験の評価

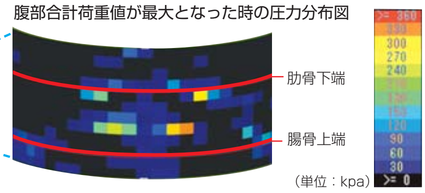


腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
0.438kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



（単位：kpa）

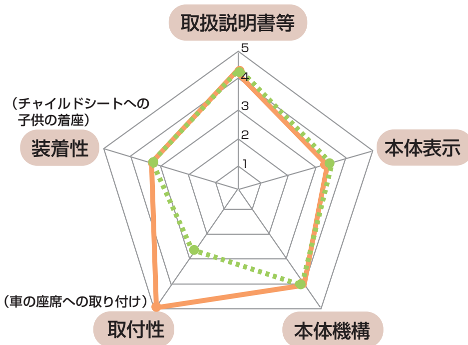
takata04-system3.0 （現行基準適合品） ㊋ C-2029（2005年度実施） タカタ（株）



5.8kg

Ⅰ 前面衝突試験の評価	乳児	幼児
取付部等の破損	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	◎	◎
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	なし	なし
評価	優	良

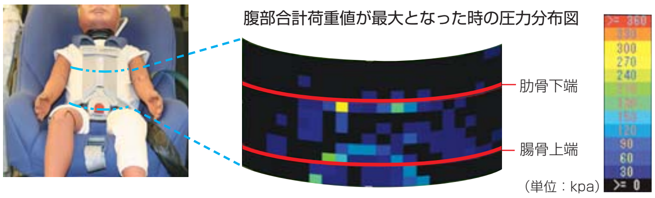
Ⅱ 使用性評価試験の評価



腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
0.318kN

腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



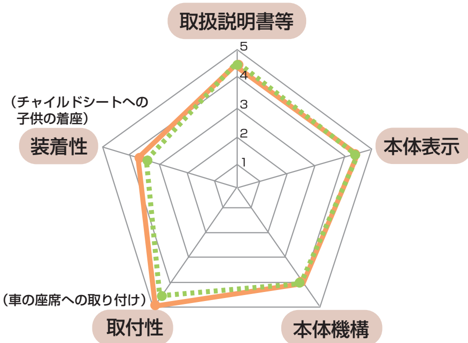
ピピデビューN （現行基準適合品） ㊋ C-2054（2004年度実施） リーマン（株）



6.2kg

Ⅰ 前面衝突試験の評価	乳児	幼児
取付部等の破損	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	◎	◎
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	なし	なし
評価	優	良

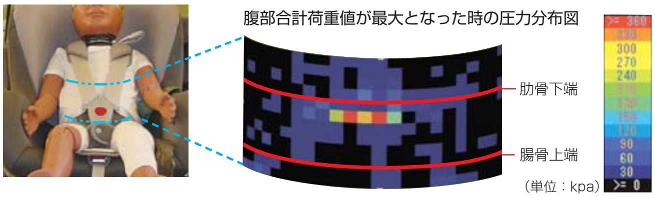
Ⅱ 使用性評価試験の評価



腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
0.306kN

腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



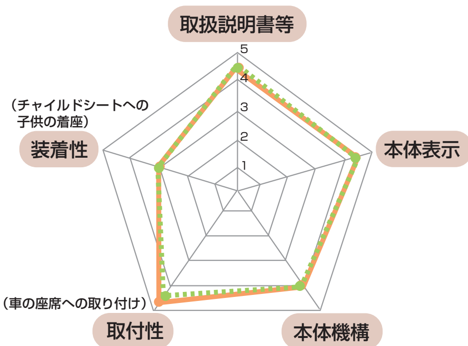
トヨタ G-Child plus （現行基準適合品） ㊋ C-2047（2004年度実施） タカタ（株）



6.7kg

Ⅰ 前面衝突試験の評価	乳児	幼児
取付部等の破損	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	◎	◎
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	なし	なし
評価	優	良

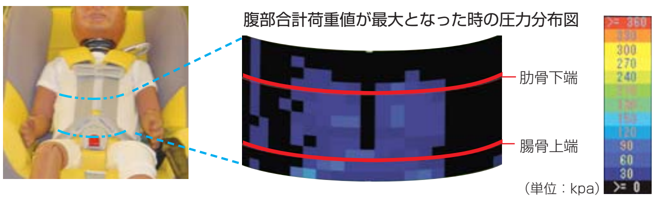
Ⅱ 使用性評価試験の評価



腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
0.224kN

腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



takata04-neo

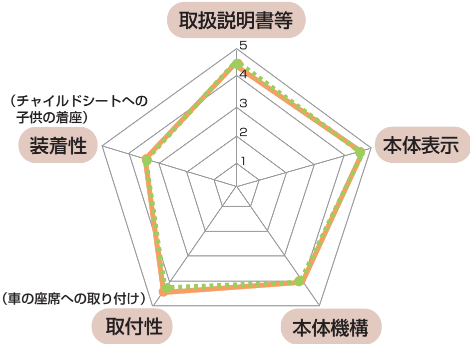
現行基準適合品　自 C-2046（2004年度実施）　タカタ（株）



10.0kg

Ⅰ 前面衝突試験の評価	乳児	幼児
取付部等の破損	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	◎
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	◎	◎
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	なし	なし
評価	優	優

Ⅱ 使用性評価試験の評価

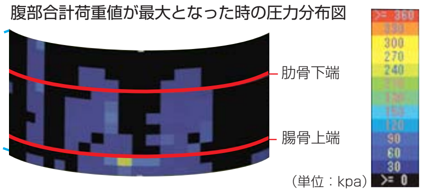


腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
0.199kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



パミオデビューDX

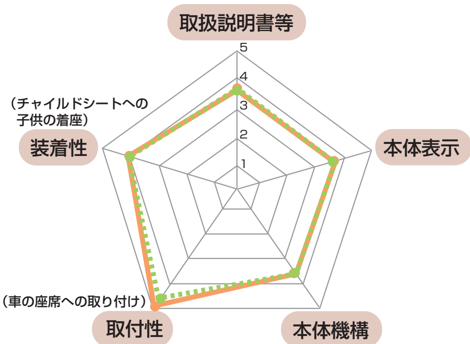
現行基準適合品　自 C-2039 希望試験機種（2003年度実施）　リーマン（株）



6.0kg

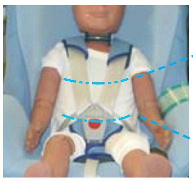
Ⅰ 前面衝突試験の評価	乳児	幼児
取付部等の破損	◎	○
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	○
胸部に生じる力	◎	◎
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	なし	なし
評価	優	普

Ⅱ 使用性評価試験の評価

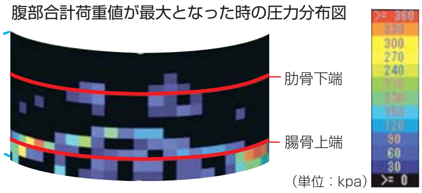


腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
0.462kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



プリムロング

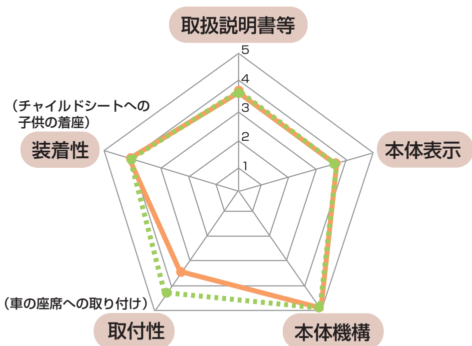
現行基準適合品　自 C-2030（2003年度実施）　コンビ（株）



7.4kg

Ⅰ 前面衝突試験の評価	乳児	幼児
取付部等の破損	◎	○
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	◎	◎
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	なし	なし
評価	優	普

Ⅱ 使用性評価試験の評価

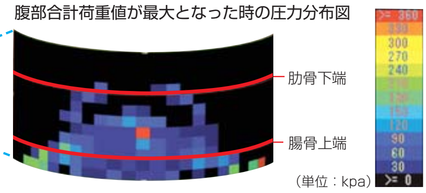


腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
0.384kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



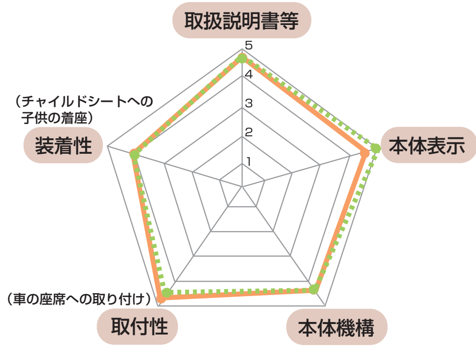
ミリブ6000　現行基準適合品　㊐C-2023（2003年度実施）　タカタ（株）



9.1kg

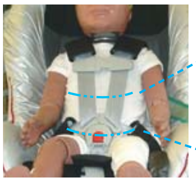
Ⅰ 前面衝突試験の評価	乳児	幼児
取付部等の破損	○	◎
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	◎
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	◎	◎
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	なし	なし
評価	良	優

Ⅱ 使用性評価試験の評価

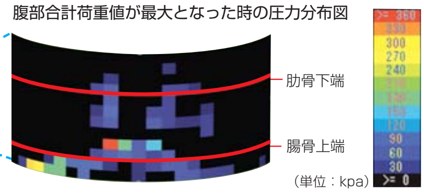


腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
0.245kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



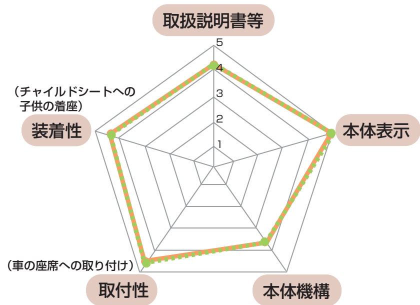
エールベベ・くるっとEX　現行基準適合品　㊐C-2009（2002年度実施）　（株）カーメイト



Ⅰ 前面衝突試験の評価	乳児	幼児
取付部等の破損	◎ ※1	◎ ※1
シートバックの傾き	○	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	○	◎
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	なし	※2
評価	普	良

※1 サポートレッグに変形が発生したが、それは衝撃吸収機構の作動によるものである。
※2 骨盤拘束が弱く、腹部を圧迫しているが、それはバックル・ハーネスによってである。

Ⅱ 使用性評価試験の評価



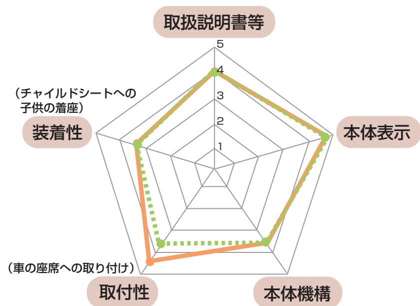
ゼウスターンEG　現行基準適合品　㊐C-1005／㊐C-180（2002年度実施）　コンビ（株）



Ⅰ 前面衝突試験の評価	乳児	幼児
取付部等の破損	◎ ※1	◎ ※1
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	○	◎
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	なし	※2
評価	良	良

※1 サポートレッグに変形が発生したが、それは衝撃吸収機構の作動によるものである。
※2 骨盤拘束が弱く、腹部を圧迫しているが、それがバックル・ハーネスによってである。

Ⅱ 使用性評価試験の評価



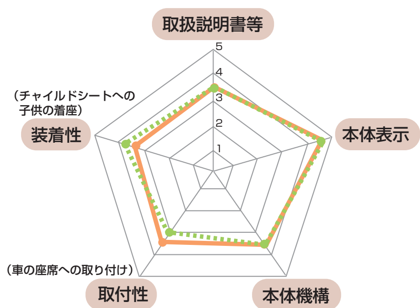
ネオシスファースト2.5S　現行基準適合品　㊐C-1008／㊐C-142 希望試験機種（2001年度実施）　コンビ（株）



Ⅰ 前面衝突試験の評価	乳児	幼児
取付部等の破損	○	◎
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	○	◎
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	なし	※
評価	普	良

※骨盤拘束が弱く、腹部を圧迫しているが、それはパッド・ハーネスによってである。

Ⅱ 使用性評価試験の評価



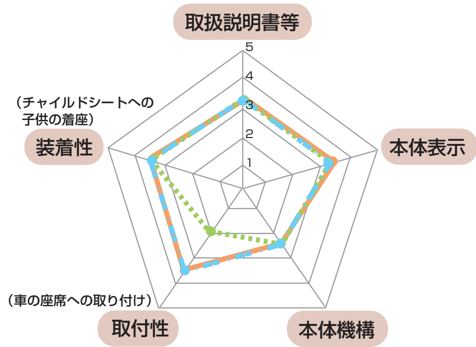
ユーロフィックスEC820　新基準適合品　E_{13}040063　（2007年度実施）　アップリカ葛西（株）



15.8kg

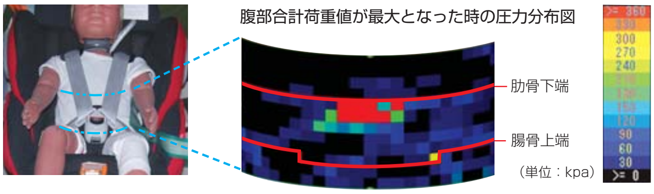
Ⅰ 前面衝突試験の評価	乳児	乳児（ベッド型）	幼児
取付部等の破損	◎	◎	○
シートバックの傾き	◎	—	—
底面の傾き	—	×	—
頭部のはみ出し	◎	—	—
頭部の前方への移動量	—	◎	○
頭部に生じる力	—	—	◎
胸部に生じる力	◎	○	◎
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	なし	なし	なし
評価	優	推奨せず	普

Ⅱ 使用性評価試験の評価



腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
0.945kN



ニューボーンベッドイージーターンWエアーサーモ1000　現行基準適合品　㊉ C-2518（2006年度実施）　アップリカ葛西（株）

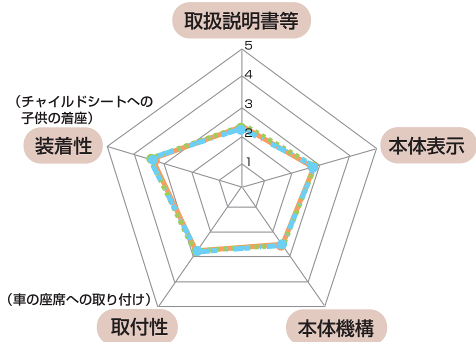


18.8kg

Ⅰ 前面衝突試験の評価	乳児	乳児（ベッド型）	幼児
取付部等の破損	◎	◎	◎
シートバックの傾き	○	—	—
底面の傾き	—	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—	—
頭部の前方への移動量	—	◎	○
頭部に生じる力	—	—	○
胸部に生じる力	◎	○	○
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	なし	なし	×※
評価	良	良	推奨せず

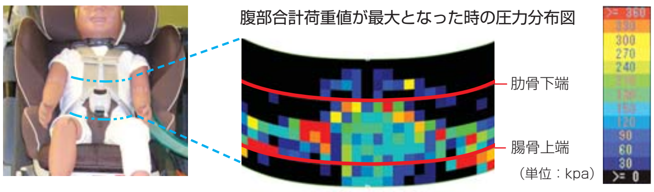
※腹部を圧迫し、幼児の身体に傷害を与える恐れがあった。

Ⅱ 使用性評価試験の評価



腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
2.061kN



ニューボーンベッドイージーターン600　現行基準適合品　㊉ C-2517（2006年度実施）　アップリカ葛西（株）

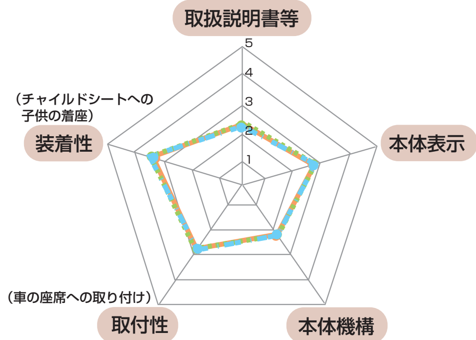


13.0kg

Ⅰ 前面衝突試験の評価	乳児	乳児（ベッド型）	幼児
取付部等の破損	◎	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—	—
底面の傾き	—	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—	—
頭部の前方への移動量	—	◎	○
頭部に生じる力	—	—	◎
胸部に生じる力	○	○	◎
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	なし	なし	×※
評価	良	良	推奨せず

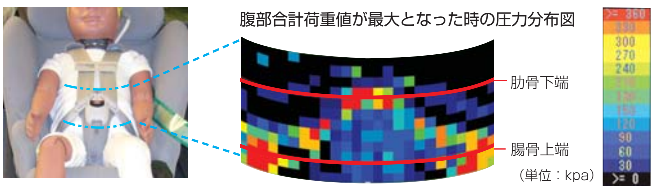
※腹部を圧迫し、幼児の身体に傷害を与える恐れがあった。

Ⅱ 使用性評価試験の評価



腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
1.595kN



ニューボーンベッドワイド&ロング　現行基準適合品　㊀ C-2512（2005年度実施）　アップリカ葛西（株）

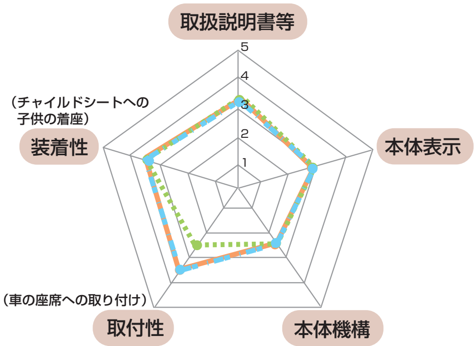


14.2kg

Ⅰ 前面衝突試験の評価	乳児	乳児（ベッド型）	幼児
取付部等の破損	○※	◎※	○※
シートバックの傾き	◎	—	—
底面の傾き	—	×	—
頭部のはみ出し	◎	—	—
頭部の前方への移動量	—	◎	○
頭部に生じる力	—	—	◎
胸部に生じる力	○	○	◎
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	なし	なし	なし
評価	普	推奨せず	普

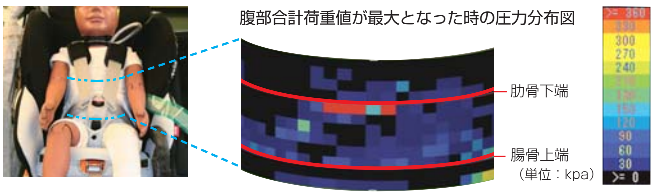
※ベルトガイド周辺の樹脂カバーに割れが発生したが、それは衝撃吸収構造の作動によるものである。

Ⅱ 使用性評価試験の評価



腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
1.016kN



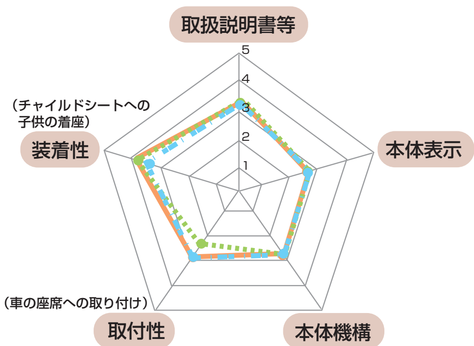
マシュマロベッドWサーモ　現行基準適合品　㊀ C-2508（2005年度実施）　アップリカ葛西（株）



14.2kg

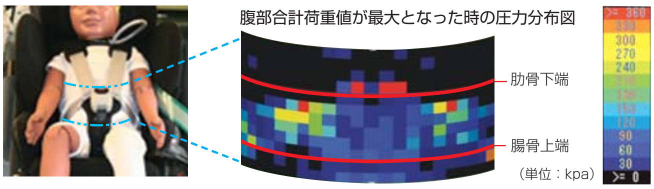
Ⅰ 前面衝突試験の評価	乳児	乳児（ベッド型）	幼児
取付部等の破損	◎	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—	—
底面の傾き	—	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—	—
頭部の前方への移動量	—	◎	○
頭部に生じる力	—	—	◎
胸部に生じる力	◎	○	◎
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	なし	なし	なし
評価	優	良	良

Ⅱ 使用性評価試験の評価



腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
1.260kN



マシュマロJターンネオサーモ　現行基準適合品　㊀ C-2060（2005年度実施）　アップリカ葛西（株）

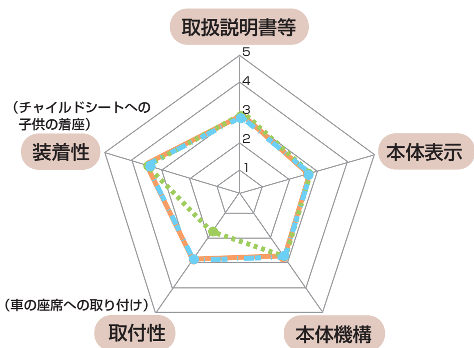


14.1kg

Ⅰ 前面衝突試験の評価	乳児	乳児（ベッド型）	幼児
取付部等の破損	◎	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—	—
底面の傾き	—	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—	—
頭部の前方への移動量	—	◎	○
頭部に生じる力	—	—	○
胸部に生じる力	◎	○	◎
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	なし	なし	×※
評価	優	良	推奨せず

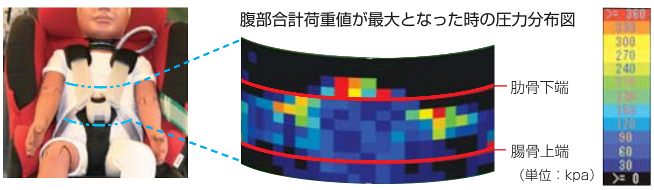
※腹部を圧迫し、幼児の身体に傷害を与える恐れがあった。

Ⅱ 使用性評価試験の評価



腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
1.413kN





幼児用 対象：体重9〜18kg以下用　進行方向に対して前向きに使用

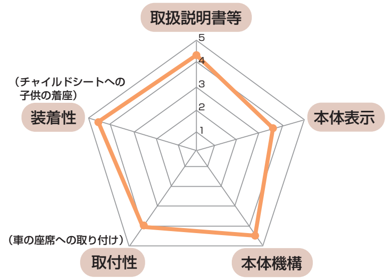
ハーネスフィットロング　新基準適合品　E4 04443710　(2007年度実施)　コンビ（株）



5.9kg

Ⅰ 前面衝突試験の評価	幼児
取付部等の破損	◎
頭部の前方への移動量	○
頭部に生じる力	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	なし
評価	良

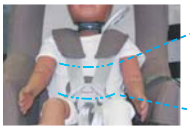
Ⅱ 使用性評価試験の評価

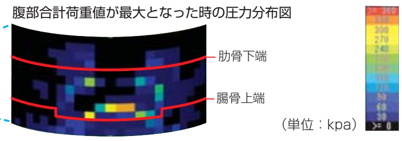


腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値

0.442kN





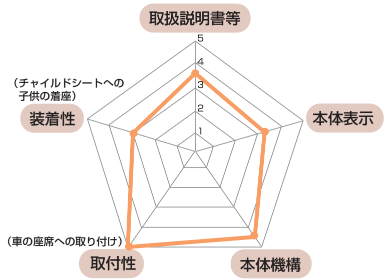
RECARO Start R1　新基準適合品　E4 04443614　(2007年度実施)　レカロ（株）



5.0kg

Ⅰ 前面衝突試験の評価	幼児
取付部等の破損	◎
頭部の前方への移動量	○
頭部に生じる力	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象	ダミーの肋骨が最大まで変形した。（現在、胸部の変形の評価方法は確立していない。）
評価	インパクトシールドタイプであるため、評価は行わない。（P5の3.評価を参照。）

Ⅱ 使用性評価試験の評価



腹部圧迫の計測結果

インパクトシールドタイプであり、腹部への圧力を正確に計測できないことがあるため、腹部合計荷重値は公表しないこととした。（P5の3. 評価を参照。）

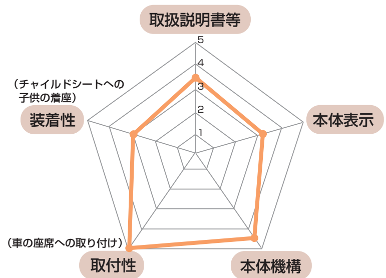
エールベベ・サラット3ステップⅡ／RECARO Start α1　現行基準適合品　㊊ C-2505　(2007年度実施)　（株）カーメイト／レカロ（株）



5.1kg

Ⅰ 前面衝突試験の評価	幼児
取付部等の破損	◎
頭部の前方への移動量	○
頭部に生じる力	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象	ダミーの肋骨が最大まで変形した。（現在、胸部の変形の評価方法は確立していない。）
評価	インパクトシールドタイプであるため、評価は行わない。（P5の3.評価を参照。）

Ⅱ 使用性評価試験の評価



腹部圧迫の計測結果

インパクトシールドタイプであり、腹部への圧力を正確に計測できないことがあるため、腹部合計荷重値は公表しないこととした。（P5の3. 評価を参照。）

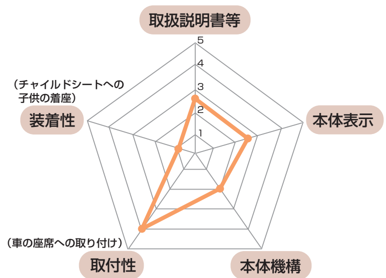
ユーロジュニア　新基準適合品　E13 040067　(2007年度実施)　アップリカ葛西（株）



6.5kg

Ⅰ 前面衝突試験の評価	幼児
取付部等の破損	◎
頭部の前方への移動量	○
頭部に生じる力	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象	ダミーの肋骨が最大まで変形した。（現在、胸部の変形の評価方法は確立していない。）
評価	インパクトシールドタイプであるため、評価は行わない。（P5の3.評価を参照。）

Ⅱ 使用性評価試験の評価



腹部圧迫の計測結果

インパクトシールドタイプであり、腹部への圧力を正確に計測できないことがあるため、腹部合計荷重値は公表しないこととした。（P5の3. 評価を参照。）

チャイルド&ジュニアシートムービングサポート （現行基準適合品） ㊉ C-2519 （2007年度実施） アップリカ葛西（株）



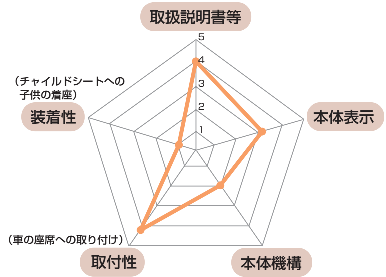
6.2kg

Ⅰ 前面衝突試験の評価	幼児
取付部等の破損	◎
頭部の前方への移動量	◎
頭部に生じる力	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象	ダミーの肋骨が最大まで変形した。（現在、胸部の変形の評価方法は確立していない。）
評価	インパクトシールドタイプであるため、評価は行わない。（P5の3. 評価を参照。）

腹部圧迫の計測結果

インパクトシールドタイプであり、腹部への圧力を正確に計測できないことがあるため、腹部合計荷重値は公表しないこととした。（P5の3. 評価を参照。）

Ⅱ 使用性評価試験の評価



プリオリXP （旧国連基準適合品） （2006年度実施） コンビ（株）



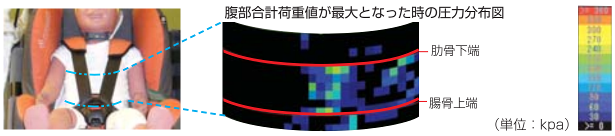
9.2kg

Ⅰ 前面衝突試験の評価	幼児
取付部等の破損	◎
頭部の前方への移動量	○
頭部に生じる力	○
胸部に生じる力	◎
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	なし
評価	普

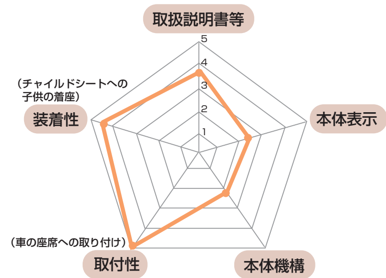
腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値

0.499kN



Ⅱ 使用性評価試験の評価



NEWトラベルベスト （米国基準適合品） （2006年度実施） （株）日本育児



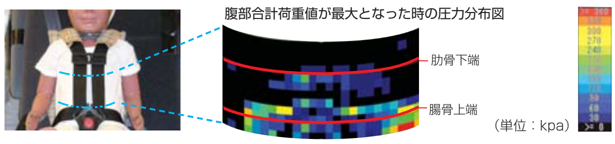
1.2kg

Ⅰ 前面衝突試験の評価	幼児
取付部等の破損	○
頭部の前方への移動量	○
頭部に生じる力	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	なし
評価	普

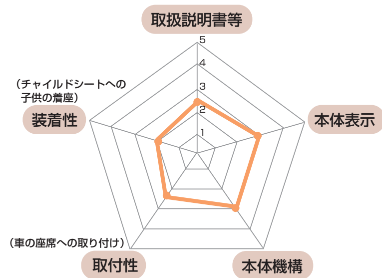
腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値

0.727kN



Ⅱ 使用性評価試験の評価



ブオンキッズEG （現行基準適合品） ㊉ C-2064 （2005年度実施） コンビ（株）



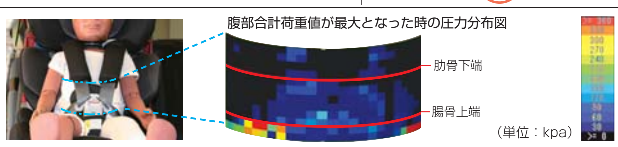
16.8kg

Ⅰ 前面衝突試験の評価	幼児
取付部等の破損	○
頭部の前方への移動量	○
頭部に生じる力	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	なし
評価	普

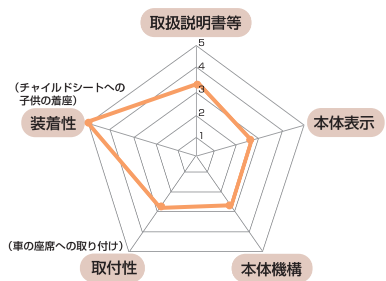
腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値

0.304kN



Ⅱ 使用性評価試験の評価



エールベベ・さらっと3ステップ （現行基準適合品） 自 C-2055（2005年度実施） （株）カーメイト



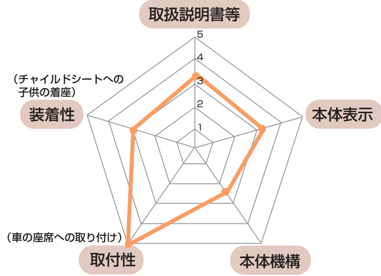
4.8kg

Ⅰ 前面衝突試験の評価	幼児
取付部等の破損	◎
頭部の前方への移動量	○
頭部に生じる力	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	計測範囲外
評価	計測範囲外の事象があったため正しく評価できず※

腹部圧迫の計測結果

※衝突試験時、体が飛び出すことを防ぐ拘束装置がダミー胸部と腹部に計測範囲を超える大きな変形を生じさせて、腹部への圧力について正確に計測できなかった。

Ⅱ 使用性評価試験の評価



パワーベスト （現行基準適合品） 自 C-2026（2004年度実施） エムズジンテック（株）

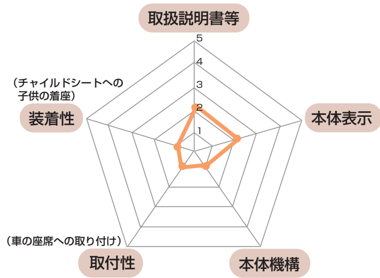


0.3kg

Ⅰ 前面衝突試験の評価	幼児
取付部等の破損	◎
頭部の前方への移動量	○
頭部に生じる力	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象	※

※衝突試験時にダミーが大きく前屈し、面圧計がダミー腹部に挟まれる現象により大きな圧力が測定された。この圧力と拘束装置による腹部圧迫の圧力を明確に区分できず、腹部圧迫の程度を評価できないため、全体評価は行わないこととした。

Ⅱ 使用性評価試験の評価



レーマー・キングTSプラス （旧国連基準適合品） 希望試験機種 （2004年度実施） （株）ヤナセ



10.1kg

Ⅰ 前面衝突試験の評価	幼児
取付部等の破損	◎
頭部の前方への移動量	○
頭部に生じる力	◎
胸部に生じる力	○
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	なし
評価	普

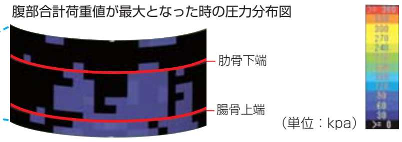
腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値

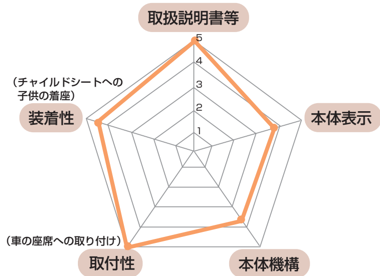
0.141kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



Ⅱ 使用性評価試験の評価



ハイバックブースター （米国基準適合品）（2004年度実施） （株）日本育児



3.5kg

Ⅰ 前面衝突試験の評価	幼児
取付部等の破損	◎
頭部の前方への移動量	○
頭部に生じる力	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	なし
評価	良

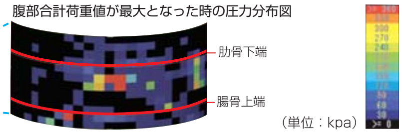
腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値

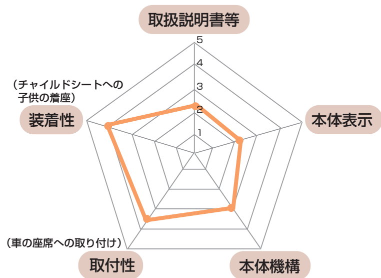
0.634kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



Ⅱ 使用性評価試験の評価



幼児用

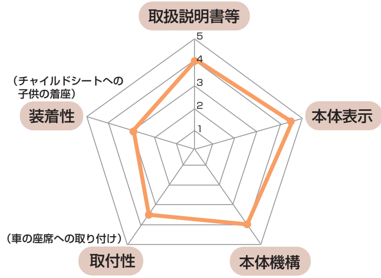
プリムキッズ

現行基準適合品　(自) C-1011／(自) C-147（2002年度実施）　コンビ（株）



Ⅰ 前面衝突試験の評価	幼児
取付部等の破損	◎
頭部の前方への移動量	○
頭部に生じる力	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	なし
評価	良

Ⅱ 使用性評価試験の評価



ファンキッズ

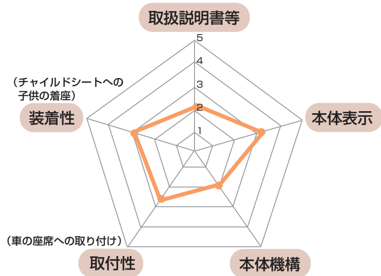
現行基準適合品　(自) C-1006／(自) C-174（2002年度実施）　（株）ミクニ



Ⅰ 前面衝突試験の評価	幼児
取付部等の破損	○
頭部の前方への移動量	◎
頭部に生じる力	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	※
評価	良

※骨盤拘束が弱く、腹部を圧迫しているが、それはシールドによってである。

Ⅱ 使用性評価試験の評価



レーマー・ロード

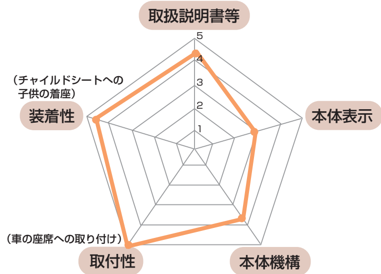
旧国連基準適合品（2002年度実施）　（株）ヤナセ



Ⅰ 前面衝突試験の評価	幼児
取付部等の破損	◎ ※
頭部の前方への移動量	○
頭部に生じる力	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	なし
評価	良

※肩用パッドの破損が発生したが、それは衝撃吸収機構の作動によるものである。

Ⅱ 使用性評価試験の評価



PAOPAOチャイルドフォービー

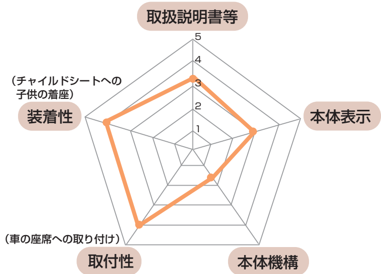
現行基準適合品　(自) C-1015／(自) C-104（2001年度実施）　（株）東海理化電機製作所



Ⅰ 前面衝突試験の評価	幼児
取付部等の破損	◎ ※
頭部の前方への移動量	○
頭部に生じる力	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	なし
評価	良

※サポートレッグに変化が発生したが、それは衝撃吸収機構の作動によるものである。

Ⅱ 使用性評価試験の評価



幼児用

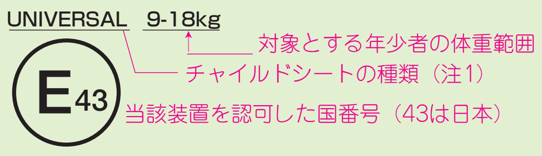
チャイルドシート安全基準マーク

国土交通省の安全基準に適合したものには以下のような型式指定マークか、型式認定マークが製品に表示してあります。
なお、2006年10月にチャイルドシートに関する基準の見直しが行われ、自動車基準の国際調和の観点から、国連の車両装置などの型式認定相互承認協定（1958年協定）に基づく規則第44号（第4改訂版）と整合が図られました。

新基準マーク

基準施行年月　2006年10月

適用　2006年10月1日以降に型式指定を受けた製品

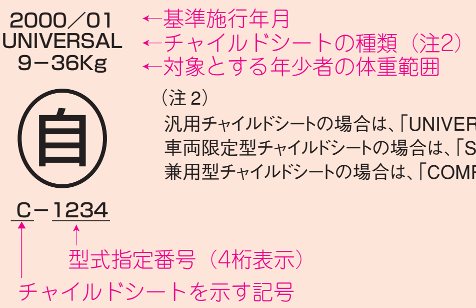


（注1）
汎用チャイルドシートの場合は、「UNIVERSAL」
準汎用チャイルドシートの場合は、「SEMI-UNIVERSAL」
車両限定型チャイルドシートの場合は、「VEHICLE-SPECIFIC」
特定車両型チャイルドシートの場合は、「RESTRICTED」

現行基準 マーク

基準施行年月　2000年1月

適用　2012年6月30日まで製作できる製品



（注2）
汎用チャイルドシートの場合は、「UNIVERSAL」
車両限定型チャイルドシートの場合は、「SPECIFICVEHICLE」
兼用型チャイルドシートの場合は、「COMPATIBLE」

旧基準 マーク

基準施行年月　1998年11月

適用　2002年12月まで製作された製品

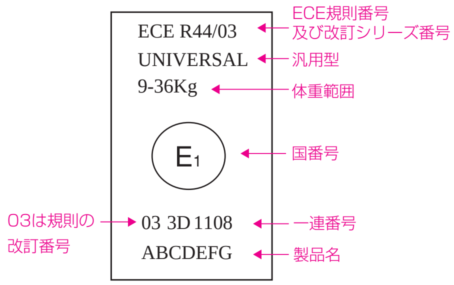


その他のマーク

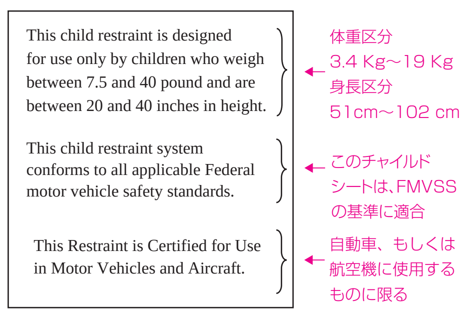
運輸省型式認定マーク　（1998年11月まで）



欧州の基準適合マーク（ECE規則 R44/03）

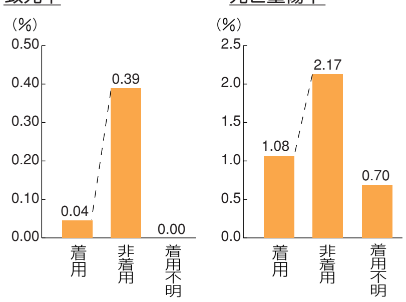


米国の基準適合マーク（FMVSS No.213）



チャイルドシート着用の効果

■チャイルドシート有無の致死率、死亡重傷率の比較



チャイルドシートの着用、非着用の事故データを見ると、着用時と非着用時とでは致死率、死亡重傷率に大きな差があることが分かります。

平成18年中の6歳未満の幼児の自動車同乗中の交通事故発生状況

被害状況／チャイルドシート着用の有無	被害者数				被害率	
	死者数	重傷者数	軽傷者数	計	致死率	死亡重傷率
着　用	3人	78人	7,425人	7,506人	0.04%	1.08%
非 着 用	18人	82人	4,507人	4,607人	0.39%	2.17%
着用不明	0人	2人	284人	286人	0.00%	0.70%

（注）・致死率＝死者数÷全死傷者数×100[%]　・死亡重傷率＝（死者数＋重傷者数）÷全死傷者数×100[%]
・交通安全白書より抜粋

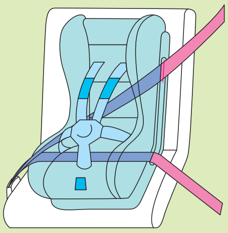
チャイルドシートは正しい知識で安全に利用

自動車との適合性

すべてのチャイルドシートがすべての自動車に取り付けられるわけではありません。チャイルドシートメーカーなどから出されている「車種別チャイルドシート適合表」などを参考に取り付けられるかどうかを確認して、自分の自動車に適合したチャイルドシートを選びましょう。

取り付け方法

チャイルドシートの取り付け方法は、製品によって異なるため、それぞれの取扱説明書に従って取り付けてください。
市販されている多くのチャイルドシートは、自動車のシートベルトを用いて座席に固定する方式が主流であり、シートベルトの通し方により2点固定式と3点固定式があります。



3点式シートベルトによる3点固定

自動車のチャイルドシート取付具の種類

自動車のシートベルト

2点式シートベルト

前席中央及び後席中央に取り付けられているもの。なお、市販のチャイルドシートの多くは、2点式シートベルトに対応していません。平成18年10月のシートベルト及びシートベルト取付装置に関する基準の見直しにより平成24年7月以降新たに販売される乗用車（乗車定員10人未満）及び貨物車（車両総重量3.5トン以下のもの）は、3点式に変更されます。

3点式シートベルト

2点式シートベルトが取り付けられる座席以外の座席に取り付けられているもの。なお、シートベルトの巻き取り装置には、次のELR式シートベルトなどがあります。

ELR式（緊急ロック式）シートベルト

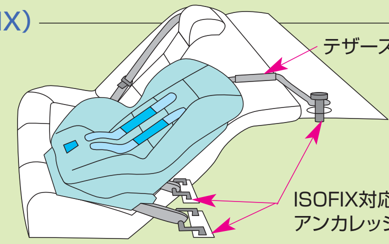
通常はシートベルトを自由に引き出せますが、急ブレーキなどの衝撃を感知した時のみシートベルトがロックする機能（ELR機能）を備えたものです。

チャイルドシート固定機能付シートベルト（ALR〔自動ロック〕付きELR式シートベルト）

通常はELR機能ですが、シートベルトを全て引き出せばALR機能(自動ロック付巻き取り装置)に切り替わり、巻き込み方向にのみ動きますが、引き出せなくなります。チャイルドシートの取り付けに緩みが生じにくく、取り付けが比較的容易です。

⚠警告　子どもをシートベルトで遊ばせないで下さい。ALR機能に切り替わり、首や体に絡まった場合、ベルトがゆるめられなくなり、窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。万一、シートベルトを外せなくなった場合は、はさみなどで切断して下さい。

共通取付具（ISOFIX）



ISOFIX対応のチャイルドシート取付具が座面の奥に付いている座席です。車種ごとに指定されたISOFIX対応チャイルドシートを組み合わせて使用します。また、平成18年10月にチャイルドシートに関する基準の見直しが行われ、テザーストラップとの組み合わせにより、汎用ISOFIX対応チャイルドシートが認められましたが、自動車が汎用ISOFIX対応チャイルドシートに適応している必要があります。

チャイルドシート内蔵シート



チャイルドシート内蔵シート

通常は座席（後席が一般的）の中に折りたたんで収納されていますが、子供を乗車させるときには引き出して使用することができる子供用の座席です。なお、現在では、輸入車の一部に学童用（ジュニアシート）がオプション設定されています。

取り付け時の注意点

①後部座席に取り付ける
助手席にエアバッグが装備されている場合に助手席に後ろ向きチャイルドシートを取り付けることは、極めて危険ですので絶対にやめましょう。

②しっかりと固定する
取扱説明書に従いしっかりと固定することが必要です。前向きのチャイルドシートの場合は、取り付けられたチャイルドシートの上端部に前方向に力を加えても大きく動かないよう（約3cm以下が目安）しっかり固定しましょう。「チャイルドシート固定機能付シートベルト」が付いている自動車の場合（後部座席の左右が多い）は、チャイルドシートを取り付けた後シートベルトをすべて引き出し、ALR機能を作動させましょう。

アドバイス：ベルトストッパーがある場合、先にチャイルドシートに体重をかけ、車両の腰ベルトのみで固定できるぐらいに車両ベルトを引っ張り、ベルトストッパーで止めるとうまくできます。

③着座時のやけどに注意する
炎天下での駐車時には、チャイルドシート本体、バックル、ベルトの金具部分などが熱くなり、やけどするおそれがあります。子供を着座させる際には、各部に触れて、確認した上で使用しましょう。

NASVA mobile で いつでもどこでも車の安全情報を

携帯サイトで自動車アセスメントの結果が見られます



バーコード読み取り機能がついている携帯電話からQRコードを
読み取ることで簡単に携帯サイトにアクセスできます。

NTT DoCoMo、au by KDDI、SoftBankに対応していますが、ご使用の環境、設定や機種によっては
正しく表示されなかったり、ご利用になれない場合があります。

アドレス入力
http://www.nasva.go.jp/mobile/index.html

国土交通省自動車不具合情報ホットライン

リコールの適正な実施のために自動車の不具合情報の提供を

- ●ホームページ受付（http://www.mlit.go.jp/RJ/）
- ●フリーダイヤル受付 0120-744-960（平日9時30分～12時、13時～17時30分）
- ●24時間不具合情報自動音声受付　03-3580-4434（年中無休・24時間）

このホットラインでは、自動車の設計または製造の過程に起因すると思われる故障、事故、車両火災などにかかる自動車の不具合情報を専用に受け付けます。なお、商品性、金銭上の問題などは対象外です。

チャイルドシートアセスメント

このパンフレットに対するご意見、ご要望などについては、下記にご連絡ください。パンフレットの内容はインターネットでもご覧になれます。

国土交通省　自動車交通局
技術安全部　審査課
〒100-8918　東京都千代田区霞が関2-1-3
TEL　03-5253-8111（代表）　FAX　03-5253-1640
国土交通省のホームページ
http://www.mlit.go.jp

独立行政法人 自動車事故対策機構
企画部　安全情報グループ
〒102-0083　東京都千代田区麹町6-1-25
TEL　03-5276-4455　FAX　03-3239-9336
独立行政法人 自動車事故対策機構のホームページ
http://www.nasva.go.jp

監修：国土交通省
発行：独立行政法人 自動車事故対策機構

自動車アセスメント

安全な車選びのために自動車アセスメントについてもご覧ください。国土交通省および独立行政法人自動車事故対策機構のホームページでご覧になれます。



自動車事故対策機構は、独立行政法人として平成15年10月1日に設立され、自動車事故の発生の防止と、被害者保護の増進に向けて幅広い業務を推進しています。

- ●自動車事故防止のための事業
  - ・運行管理者等の指導講習
  - ・運転者の適性診断
- ●自動車事故による被害者保護の増進のための事業
  - ・重度後遺障害者の援護（介護料の支給、療護施設の設置・運営）
  - ・交通遺児などの援護（育成資金の無利子貸付、友の会の運営・家庭相談）

2008.3